

全九年五月十日

一假博物場看守申付候事

開拓使

全十一年十月十二日

一等外一等出仕申付候事

開拓使

甲午三拾八年)

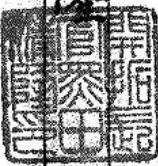
外國人解傭、儀三付伺

當使雇錢道建築師兼土木顧問來國人ヨセフ、エ・クロウホルド儀帽内錢道需要物品購入ノ為ノ先般經同ノ上米國、派遣中、候處兼テ該錢道ノ一部札幌手官間略竣工ノ上、解職相成度旨本人引情願申出居候儀モ有之候處最早其如、竣功至リ且ツ今回古需要品購入モ粗整領候ニ付其請願ニ任セ雇期限中六候得共來ル八月三十日限派出先ニ於テ解傭致シ度此設相伺候也

明治十四年七月一日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿



外國人雇継義同

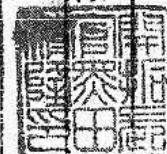
明治十四年七月十九日



甲第十三社カニ
外國人雇継義同
當使產米國人札幌農學校教師ドクトル、ジョン、カラレンス、
カツタル、及同國人札幌勸業課農業師エトウイン、ドン
義幸
ドンハノヨリ九月六日雇滿期シ處常就レモ其擔務ノ
事業上尤要ニ有之ドンハノ月六日ヨリ各產米年間從前
同一ノ月俸ドンハ銀貨五百元用ヲ以テ雇継義度多至至
急在名裁吉歲度此固矣也

明治十四年七月十九日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿